

2022年5月吉日

奈良国立博物館

PRESS RELEASE

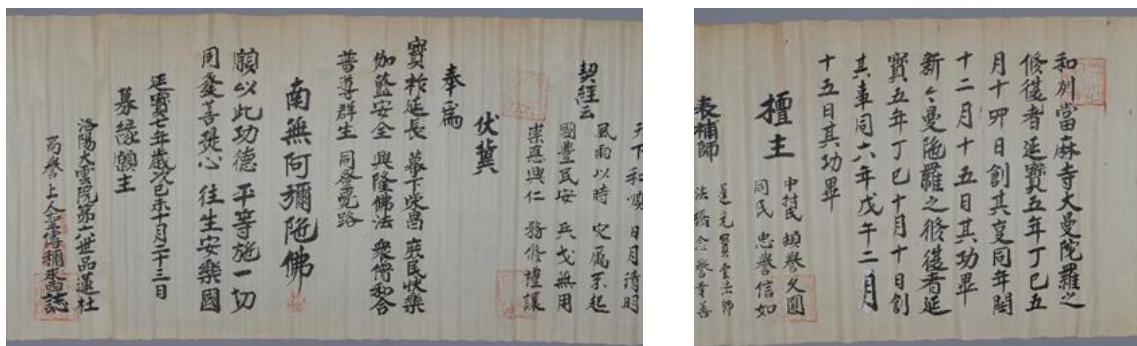
當麻曼茶羅（貞享本）の修理と初公開の軸内納入品について

平成30～令和2（2018～2020）年度に、當麻寺所蔵の重要文化財當麻曼茶羅（貞享本）の本格修理が行われました。平成20～23（2008～2011）年度に行われた重要文化財當麻曼茶羅（文龜本）、平成26～29（2014～2017）年度に行われた国宝綴織當麻曼茶羅の本格修理に続く修理で、いずれも国庫補助事業として実施され、奈良国立博物館内文化財修理所において、（株）文化財保存が施工を担当しました。

修理の際、本図の下軸内から40点ほどの文書が確認されました。これら文書のうち奉納願文（写真下）には貞享本成立の経緯やそれに関わった人々の名前が記されています。文書の一部は昭和31～35（1956～1960）年度に行われた當麻寺本堂（曼茶羅堂）修理の際に存在が確認されましたがこの時は軸内に戻されていました。今回の修理では別置保存となり、本展で初公開いたします。



重要文化財　當麻曼茶羅（貞享本）　奈良・當麻寺蔵



重要文化財　當麻曼茶羅（貞享本）軸内納入品のうち奉納願文　奈良・當麻寺蔵